※令和３年度以前入学生用

学校番号	3032

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	文系３理系２	年次	３年次
使用教科書	「現代文Ｂ改訂版上巻・下巻」（大修館書店）						
副教材等	「現代文単語」（数研出版）、「現代文長文記述問題集入試完成編４」（いいずな書店）、「入試漢字コア 2800」（桐原書店）、新国語便覧（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・包括的な国語の力、すなわち「読む」「書く」「話す」「聞く」の四つの力があれば、どんな問題にも対応できます。目先の結果に心を奪われるのではなく、今年も本格的な国語力の養成に努めましょう。
・国語力育成のためには、「すぐれた文章・題材について、真剣にひたむきに取り組むこと」が何よりも大切です。
・また、プレゼンテーションや問題作成、話し合いなど主体的な活動も行っていきます。意欲をもって取り組み、有意義な時間にしましょう。

2　学習の到達目標

・近代以降のすぐれた評論・小説・随筆・詩歌などを深く味わい、読解する力をつける。
・記述問題に取り組むことで総合的な国語力を養成する。
・現代文の語彙を増やし、読解の基礎となる言葉の力を向上させる。
・自分の思いを的確に伝え、相手の思いを理解するコミュニケーション能力をさらに向上させる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c：書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	漢字や語彙を身につけるとともに、それを適切に運用する能力を身につけている。
評価方法	定期考査 行動の観察 記述の点検 （ノート・ワークシートなど）	行動の観察 プレゼンテーションに対するルーブリック相互評価	定期考査 記述などの取り組み評価（ノート・ワークシートなど）	定期考査 記述などの取り組み評価（ノート・ワークシートなど）	定期考査 小テストなど

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
通年	みんなに伝えたいこと	各時間の最初にクラスの一人が「みんなに伝えたいこと」という題でプレゼンテーションを行う。(発表4～6分。その後質疑応答を含め15分以内)	○	◎			○	ａ:準備や発表に対する取り組み方の度合い ｂ:表現内容・表現方法の到達度 ｅ:基本的な語彙力や言葉の選択のしかたなど	a･b･e 行動の観察 ワークシートによるルーブリック評価
通年	センター・共通テスト	センター試験・共通テストの過去問に定期的に取り組み、自己採点結果を提出する。	○			◎	○	ａ:継続して問題に取り組んでいる。 ｄ:文章を良く読んでいる。 ｅ:必要な語彙・漢字を身につけている。	a･d･e マークカードの提出状況
前期	評論Ⅰ	教材: 「『である』ことと『する』こと」	○		◎		○	a:文章の構成や展開を確かめ、筆者の主張を的確に把握しようとしている。 ｃ：記述問題に対応できる。 ｅ:必要な語彙・漢字を身につけている。	a 行動の観察 c･e 記述の確認 定期考査
	随筆・小説Ⅰ	教材: 「舞姫」	○			◎	○	ａ:人物、情景、心情などを的確にとらえ、小説の主題に迫ろうとしている。 ｄ:人物、情景、心情などを的確にとらえ、小説の主題に迫っている。 ｅ:必要な語彙・漢字を身につけている。	a 行動の観察 d･e 読解の確認 定期考査
	評論Ⅱ	教材: 「虫愛づる姫君」	○		◎		○	ａ:文章の構成や展開を確かめ、筆者の主張を的確に把握しようとしている。 ｃ:記述問題に対応できる。 ｅ:語彙・漢字に習熟している。	a 行動の観察 c･e 記述の確認 定期考査
後期	随筆・小説Ⅱ	教材: 「舞姫」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを的確にとらえ、小説の主題に迫ろうとしている。 ｄ:人物、情景、心情などを的確にとらえ、小説の主題に迫っている。 ｅ：必要な語彙・漢字を身につけている。	a 行動の観察 d･e 読解の確認 定期考査

※令和３年度以前入学生用

	評論Ⅲ	教材: 「日本文化の三つの時間」	○		◎		○	ａ：文章の構成や展開を確かめ、筆者の「いいたいこと」を的確に把握しようとしている。 ｃ：文章の構成や展開、筆者の主張を理解した上で、記述問題、自己の主張もできる。 ｅ：語彙･漢字に習熟している。	a 行動の観察 c･e 記述の確認 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話す・聞く能力」「書く能力」・「読む能力」）に関わる観点には◎を付している。